

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	敬老金品支給事業		事業コード	0439
担当課等	所属名	保健福祉部 高齢者支援室	担当係名	
	課長名	渡邊 光市	担当者名	鳩岡 聡子
			電話番号	3565

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	高齢社会に適応した高齢者福祉の充実	コード 4
	基本事業	高齢者の社会参加の促進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 3目 敬老金支給事業(007-06)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和33年度～)		
事務事業の概要	長寿を祝福し、敬老金品を贈る。					
根拠法令等	盛岡市敬老金条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和33年4月1日、盛岡市敬老金条例により実施。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<ul style="list-style-type: none"> 市民などからは3万円の至急は少なすぎるのではないかと意見がある。 対象者とそのご家族からは、記念品を含め喜ばれている。 						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
毎年、高齢者人口は増加し、百歳以上人口も増加の一途をたどっている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	100歳の市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 100歳の市民(前年度3月31日現在人口統計)	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 長寿を祝福し、誕生日に本人を訪ね、記念品とお祝い金3万円をお渡しした。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度に同じ	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 100歳の敬老金額	単位	万円
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	100歳を機に、今まで以上に生きがいを感じた生活を送ってもらおう。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 支給人数 【指標の性格: <input checked="" type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	社会参加の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	生きがい活動をしている高齢者数(単位:人) シルバー人材センター登録率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	100歳の市民(前年度3月31日現在人口統計)	人	35	38	37	24	70	70	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	100歳の敬老金額	万円	35	114	111	72	210	210	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	支給人数	人	35	38	37	24	70	70	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,143	1,287	1,241	832	2,337	2,337	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	1,143	1,287	1,241	832	2,337	2,337	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	1,143	1,287	1,241	832	2,337	2,337	*****
	延べ業務時間数	時間	245	266	259				*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	980	1,064	1,036	0	0	0	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,123	2,351	2,277	832	2,337	2,337	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 高齢者の長寿に対する励みとなるだけでなく、生きがいにつながることから結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 社会的に稀有ですばらしいという認識にある100歳の節目を迎える方をお祝いするのは、高齢者の生きがいづくりや高齢者を支える家族などへの精神的な支援のほか、市民に対して長寿を敬う意識の醸成という観点からも、市が行う事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 社会的に稀有ですばらしいという認識にある100歳の節目を迎える方を対象にしているので妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 対象者やそのご家族への励みとなることはもとより、市民に対する長寿への敬老意識の醸成も目的としていることから妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由: 業務が金品の贈呈であり、対象に限られるため。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 高齢化が進行する中で、長寿者を祝う機会を失うことは、敬老意識の停滞を招き、高齢者の生きがいづくり事業を推進する上で支障が生じる。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 国と岩手県における、老人の日記念事業の実施: 当該年度中に百歳になる方を対象に、敬老の日に祝状と記念品を贈呈する。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 当該事業は条例によって規定されており、実施時期や内容が異なる。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 金品の贈呈であり、金額は条例で定めている。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 当該事務は、金品贈呈の定例的な事務処理及び訪問業務となっているため削減する余地がない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 当該業務は、100歳の節目を迎える方を対象としているので、公正・公平である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 当該業務は、該当者への金品の贈呈であることから、受益者負担はない。

